



## 今人・我楽入退所式

平成二十四年四月七日、新たな出発日としてふさわしい、桜の花が満開の春の一日、香芝市総合福祉センター多目的ホールにて、多くの御家族様、香芝市議会議員 川田裕様、香芝市福祉部長 新居隆様、学校関係の方々のご臨席のもと、今人・我楽入退所式を盛大に執り行いました。

今年度より、以前とは違ってかしくまった形式での式典としたため、みなさん少し緊張された様子でした。

二十三年度は四名の方がめでたく就職されて退所の運びとなり、今年度は十名の新規利用者様を迎えています。

式典終了後は『ふれあいキッチンSORA』にて立食形式で懇親会を開き、皆さんとの親睦を図りつつ楽しいひと時を過ごすことができました。

## 「ゆらくの里」での支援について

「ゆらくの里」は、法人内で最初の事業として昭和 63 年 4 月に開設した入所型施設です。来年度で 25 年目を迎えるのですが、今現在どのような支援サービスを提供させてもらっているのかを改めて紹介させていただきます。

当施設では、現在約八十名の方が利用されており、生活場所としての機能（生活支援）と活動場所としての機能（作業活動支援）の両面を事業として行っています。

### 【生活場所としての機能（生活支援）】

利用者さんの住まいの場として日常生活を営んでもらう為、食事や入浴といった生活支援サービスに加え、施設行事や外出といった余暇支援・社会参加支援サービスの提供を行っています。



生活支援サービスでは、ご本人の障害特性を把握し、可能な範囲をご自分でして頂き、見守り・介助等の必要な部分を支援スタッフが援助しております。

余暇支援・社会参加支援サービスでは、バーベキュー大会（4 月）、夏祭り（7 月）、一泊旅行（10 月・11 月）、クリスマス会（12 月）、新年会（1 月）を企画運営しています。季節を感じて頂く事や普段とは違う雰囲気味わって頂く事を主眼としています。

また、日曜日のグループでの外出サービスや個別の外出サービスで、外食や買い物等を楽しんでもらっております。

生活支援全体としては、ご利用者さんに安心してもらい、楽しさを感じて頂く事を目標にしております。

### 【活動場所としての機能（作業活動支援）】

様々なグループに分かれて、作業活動をして頂いております。

『役割を持ち、プライドや生きがいを感じてもらう活動』『情緒安定に向けての活動』『機能維持を目的とした活動』をそれぞれの活動班で提供しています。

《ぷと》※午前・午後とも同グループで活動

紙すき製品（カレンダーやメッセージカードなど）を製作・販売しています。また、内職の委託作業も行っています。

《モンスター》※午前・午後とも同グループで活動

クッキーやケーキの製造・販売を行っています。



《サンベジ》※午前・午後とも同グループで活動  
畑で農作物の栽培を行っています。

《運動・リハビリ》※午前の活動グループ  
3班に分かれてウォーキング、リハビリや体操等の運動を行っています。



《炎》※午後の活動グループ  
陶芸作品（食器類や花瓶等）を製作・販売しています。



《安》※午後の活動グループ  
廊下等の清掃やレクリエーション活動及びパズルや塗り絵などの軽作業を行っています。また、音楽療法も行っています。

《暖》※午後の活動グループ  
絵画や工作等の創作活動を行っています。



《心》※午後の活動グループ  
リネン業務（洗濯物たたみや整理）を行っています。

簡単ではありますが、生活支援や活動支援の取り組みの紹介をいたしました。

ゆらくの里では、開設当初から様々な支援サービスを試行錯誤しながら提供してきました。今日、利用者さんの重度高齢化が進んでおり、健康維持に向けての取り組みが急務です。また、虐待防止への取り組み等まだまだ改善をして行かねばならない事がたくさんあります。これから財政再建に伴う社会保障制度の抜本的改革や法律の変更による福祉制度改革など様々な問題が待ち受けていますが、利用者さんの事を一番に考え、「どうすればより良い生活を利用者さんに送ってもらえるのか？」を考えて支援を行っていきたいと考えております。

## 法人研究発表会 2月25日

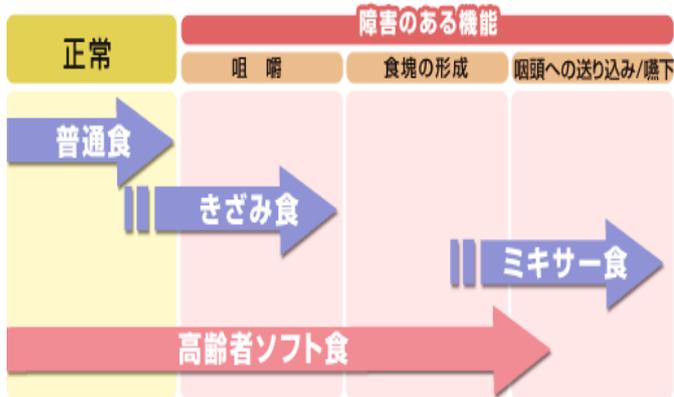
平成24年2月25日、ご利用者様のご家族にもご参観いただき、法人内で研究発表会を開催しました。全8グループの発表テーマは以下の通りです（発表順）。

今人・我楽 コテージ	「今人」サポート班の取り組みと展望 効果的なコミュニケーション手段について ～AACの活用～
ゆらく日中 はぐらいつ ゆらく生活3G 健康サポート	刑事手続きの流れと取り調べの現状や問題点 発達検査を活用した支援 自閉症とTEACCHプログラム ソフト食と口腔ケア
ゆらく生活2G ゆらく生活1G	災害を見据えて ゆらくの里で何を準備すべきか 虐待防止



この中で最優秀賞に選ばれた健康サポートチームの研究への取り組みをお知らせします。

### ～健康サポートチーム 『ソフト食と口腔ケア』～



まず、今回の研究発表会で最優秀賞を受賞することができたことを、チームを代表してお礼申し上げます。

われわれ健康サポートチームは看護師・管理栄養士・調理師（3名）で構成されており、それぞれの専門性を生かしつつ、健康をサポートしています。

近年当施設では高齢化が進み、現在の平均年齢は48.5歳です。一般の健康な48歳では自分の歯がまだ多く残っていて『刻み食』にする必要のある方は少ないですが、向精神薬や抗てんかん薬を

飲んでおられるご利用者様は薬の副作用から口腔内状況が悪化しやすく、歯の残存数も減少しやすい環境にあり、当施設でも徐々に『刻み食』が増えつつありました。『刻み食』は一口カットからそぼろ状の『超刻み』までありますが、刻めば刻むほど元のお料理がどのようなものであったのかわからなくなります（次ページ写真①、②参照）。見た目が悪いばかりか、誤嚥性肺炎を引き起こす要因になる可能性があります。

そこで、われわれは『ソフト食』に注目しました。老人施設では、導入されている所も多く、各施設での作業工程も確立されていますが、一般的に障害者施設では平均年齢が低く、必要とされているご利用者様はあまりおられないようです。

今回『ソフト食』を始めるきっかけとなった出来事の一つに、2位を受賞された生活支援1グループの『利用者体験』があります。

支援員から、超刻み食にトロミをつけた食事をされているご利用者様と同じものを食べてみたい、と希望がありました。その感想は…

- 「とても食欲のわく食事ではない」
- 「毎日この食事は食べたくない」
- 「食物が細かく刻まれ食べにくい」

これはご利用者様の代弁であり、真摯に受け止め、改善に取り組むべきだと感じました。



写真① トンカツ（普通食）



写真② トンカツ（刻み食）

『ソフト食』は、見た目は普通食と変わりませんが、歯のない方でも歯茎と上あごでかめる柔らかさに仕上げた、形のある食事形態です（写真③参照）。

『ソフト食』の作業工程は複雑で、人員不足から当施設で取り組むのは不可能だとあきらめていましたが、幸いなことに5月に調理師が増員されたことで導入に踏み込むことができました。



写真③ トンカツ（ソフト食）  
中は刻んであるが、  
見た目は普通食と変わらない

とはいえ、問題もいくつかありました。

- ・ 刻む必要のない柔らかさに仕上げた食形態であることの周知
- ・ 食材の違いから、研修会で習ったレシピで対応できないことが多いこと
- ・ 季節ごとの野菜の繊維質・水分含有量の違いから、同じような食材であってもそれぞれに合わせて調理時間を変化させる必要があること（例えば、玉ねぎと新玉ねぎなど）
- ・ 見た目が普通食と変わらないので配膳ミスに細心の注意が必要であること

以上のような問題を抱えながら見切り発車した『ソフト食』は、日々改善され、意見を述べ合っただけでさらなる改善へとつなげることでほぼ確立されてきました。失敗することもあります。失敗を次への糧ととらえ、日々進化し続ける『以和貴会の食事』でありたいと、取り組みを続けています。

このように毎日試行錯誤を繰り返しながら調理している『ソフト食』ですが、やはり普通食が一番おいしく感じます。それには今ある歯を大切に頂くことが必要です。今後はご利用者様の口腔ケア・嚥下機能維持に関してもサポートさせて頂きたいと考えています。今後ともよろしく願いいたします。

管理栄養士 米田なおみ

## バーベキュー大会 4月15日



毎年恒例の家族会主催バーベキュー大会。今年は天候にも恵まれ、多くの御家族様の参加のもとで開催されました。普段以上に食欲旺盛なご利用者様、大変喜んでいただけた1日となりました。

ご利用者様の満面の笑顔を見ることが、支援者として一番嬉しい瞬間です。多くの皆様が楽しい気持ちになれるよう、これからもさらに頑張っていきます。

ご家族の皆様ありがとうございました。



## テ米尔プロジェクト経過報告

昨年度は8月のテミフェスを皮切りに催事、催事で走り続けた1年でした。

テ米尔プロジェクトの商品はバターやバニラビーンズ、生クリームなどの材料を贅沢に使用しています。普段モンステラで製造しているクッキーよりも手間をかけて丁寧に製造し、心を込めて包装しています。その分大量生産するのは大変ですが、そのひと手間が見栄え、味ともにご満足いただける商品を作り出していると思っています。



冬季には期間限定商品としてチョコがけクッキーの販売も行い、たくさんのお客様に購入していただくことができました。

大量の発注をこなす中でスタッフ・利用者様のスキルも作業の効率も徐々に上がってきています。

4月から新しい仲間も増え、今まで以上にパワーアップしたモンステラのみなで、24年度もがんばってまいります。



### ■23年度に行った催事

8/13	テミフェス (マザー牧場)	11/24	武田薬品ファミリー祭	3/7	銀座松坂屋
10/3	名古屋大丸	11/29	ららぽーと横浜	3/7	心齋橋大丸
10/19	銀座松坂屋	1/11	銀座松坂屋	3/15	梅田大丸
10/28	浦和パルコ	2/4	上野松坂屋	3/21	上野松坂屋
11/17	心齋橋大丸	2/29	三越本店		

### ■24年度の催事 (予定を含む)

4/25	ららぽーと横浜	5月、6月	銀座松坂屋、京都大丸、神戸大丸
------	---------	-------	-----------------

## 新しい仲間が加わりました



山本 武史

所属 ゆらくの里  
入所支援事業担当

以前は臨床検査という検体相手の仕事だったので、直接利用者様と関わる仕事で戸惑うことばかりです。日々努力し、利用者の方々との信頼関係を築き、頼りにされるようなスタッフを目指して頑張ります。(3月1日入社)



伊藤 有希乃

所属 ゆらくの里  
入所支援事業担当

高校で福祉課に入り、高齢者福祉を中心に学びました。実習などで障がいを持たれた方と関わった時にとっても親しみのある仕事に興味を持ちました。まだまだ未熟なので知識も深めていきたいと思えます。(4月1日入社)



水越 直美

所属 ゆらくの里  
生活介護事業担当

アシスタントとして働き始めて3ヶ月が経ち利用者様が名前を呼んで下さるようになって嬉しいです。皆様と一緒に笑って過ごせる毎日にしたいです。(2月1日入社)



熊元 広之

所属 我楽(モンステラ)  
製菓担当

就労支援施設モンステラでお菓子職人として利用者様と共にお菓子作りを行っています。チームワークを大切に、利用者様の就労に貢献していきます。(3月14日入社)



吉岡 弘三

所属 生活支援センターしえ〜く  
相談支援担当

知的障がいの娘と暮らしてきて、たくさん壁に突き当たりました。同じような問題をお持ちのご家族の心配をなくし、ご本人が快適な地域生活を過ごせるよう最適な相談支援活動に努めます。(4月1日入社)



西本 美晴

所属 我楽(さぼーと)

我楽・さぼーと班で利用者の方々と一緒に内職作業を行っています。日が経つにつれ、利用者の方々との距離も縮まりました。まだ慣れていない事もありますが、皆さんと楽しく過ごしていけるよう頑張ります。(4月1日入社)



吉中 善弘

所属 コテージ・コテージ Jr.  
児童担当

ゆらくの里で勤務するようになり、毎日充実した日々を過ごしています。まだまだ未熟ですが、ご利用者様にとってより良い支援ができるように努力していきたいと思えます。(4月1日入社)



後藤 千恵

所属 はぐらいぶ  
児童担当

音楽を勉強していた大学時代、障がいを持つ子供たちと関わる機会があり、それをきっかけに福祉の道へ進む決意をしました。どんな時も笑顔を忘れず楽しく過ごしていきたいです。(4月1日入社)



梅田 由美

所属 コテージ・コテージ Jr.  
児童担当

コテージには素敵な笑顔がたくさんあります。これからも利用者の方々の皆様に笑顔で楽しく過ごしていただけるよう頑張りますのでよろしくお願いいたします。(4月1日入社)

精いっぱい頑張ります!

よろしくお願いいたします

## 日本財団助成事業完了のお知らせ

このたび日本財団から、平成23年度助成金の交付を受けて、下記の事業を完了いたしました。

ここに完了のご報告を申し上げますと共に、日本財団をはじめ、ご協力を賜りました関係者の皆様に謹んで感謝の意を表します。

### 記

- 一. 事業名 障害者施設（就労移行、就労継続B型、生活介護）の機器整備
- 一. 事業内容 パン製造機器（冷蔵庫、ホイロ、分割機、オープンなど）
- 一. 事業費総額 3,990,000円
- 一. 助成金額 3,192,000円
- 一. 施設名称 ワークサポートセンター今人
- 一. 施設所在場所 奈良県香芝市今泉451番地
- 一. 完了年月日 平成23年12月2日



以上

### 《賛助会員ありがとうございました》

多くの方よりご寄附いただきありがとうございました。皆様方からの寄付を施設整備等、有効に活用させていただきます、ご利用者のために使用させていただきます。

#### 《ゆらくの里》

谷口融正、樋田稔枝、宇野恭子、飯原隆美、川本雅代、中村清子、原田賢三、大上供栄、大場利子、寺本四郎、片上芳子、宮岡徹、三島茂子

#### 《地域事業》

永田恵美子、高橋明生、井伊政光、高司示現

#### 《業者ほか》

吉村化成(株)、岡村プロテックス(株)、イヌイ建装、明治牛乳関屋販売所上村元成、Ryo設計室榎谷良三、ステップワン、テラセ訪問美容、(株)インテリア森本、香芝市社会福祉協議会井上貴雄

(順不同、敬称略)

### 《賛助会員募集》

引き続き賛助会員を募集いたします。同封の振込用紙にて会費のお振込を是非お願い申し上げます。寄付金控除を受けるための領収証をご希望の方は「通信欄」にてご連絡ください。

#### 《編集後記》

学校で、また多くの会社でも新年度が始まり、年の初めとは違った意味で多くの人が心を新たにす季節となりました。新たな気持ちで一歩を踏み出し、発展へとつながっていきたいと思います。皆様のご協力をお願いいたします。

発行：社会福祉法人 以和貴会  
住所：〒639-0261 奈良県香芝市尼寺616番地  
編集責任者：理事長 下村 卓司  
Mail：[office@yuraku.or.jp](mailto:office@yuraku.or.jp)  
発行：平成24年5月